

右及申(通報候也)

(別記)

通告

當會社の業績は五月頃迄は米向に不経過し得るも六月に入り俄然悪化の傾向を呈し米向は米國の関税が六月より引上られたと米國を始め英國、澳洲、印度、支那、南米等各國何れも非常に景氣悪く感ぜられ、製造品消費も又内地はもとより都會も地方農村も仕事は少く物價は低落し購買力を減する為め當會社の販賣高も六月以降激減し製造するも賣れぬ、それと相俟て、東京の三工場の製造を減らし日曜日、外土曜日(賃金六割支給)を休む尚兎も外、難波に振向り暫く形勢を觀望す。五月五日の向、会社幹部は何をして此不景氣を切掛けんと標を考慮したるも今更不景氣は甚だしく昨年一年も快復する見込み、商品も値段は下り、生産費は却て高くなり利益はより少く損する次第で誠恐るべき堪げぬ。故に会社として此事業を潰滅せぬ様にと景氣の恢復する迄半抱せぬはならぬがそれには、今際新整整理を遂げ生産費を安する三か所である。第一は生産費を安する三か所である、三工場仕事を何れも半減して雇は非常の高くから高工場作業を休止し安する工場、三工場中では東中三工場は最悪の傾向を示す様とした。三工場中では東中三工場が一番高くして、又三工場は往來主に製造せる玩具用内地は米國が輸出が激減する為三工場も製造する品種がなされた。故に三工場は建物機械設備の損鋼干に比し不安定にして然評も上らぬ、斯様な事共を仔細に調査研究した結果、今際従業員諸君は誠心が製造する為め此工場のセルロイド部、ニトロセルロイド部の作業を休止する事か最善の金である。又此工場の原價の割付を建物機械の租金は諸君意に任せながら諸君損益場に入居不登と諦め貰ふ外はなし。

是れを存解するも諸君には親定の解雇手当、三か所手當の外に本日本退居する場合支給する勤続賞、半期賞、精勤賞を差しあげるが總額二百十名を約拾貳萬円となり一人平均五百五十円位不具年限は平均五年半となり他の会社の手當と比べ今程良い筈である。此非時印柄を全に返す諸君永年働か居たもう故獎勵使せぬ様を希望する。又諸君は今後何業に就かるとは、前に居た所の勸業振りの善悪は大切な顧慮となる。のたからある為跡を濁さぬ聲、妙く自愛を特り希望する次第です。

手當金明日(十五日)と明後日(十六日)の内に決済するから自ら向本社下さい。